ターゲットのプラスチックシンチレータを640kgから1トンに大型化させた検出器をトラックに積載し、2014年以来二度目となる夏季山岳地帯での雷雲バースト観測を乗鞍観測所でおこなった。今夏の観測期間は1ヶ月強と短かったが、それでも3回の長持続性雷雲バーストを観測した。今後はこれらの雷雲バーストイベントの解析を進め、バースト発生モデルの検証や夏季山岳地帯と冬季沿岸地域での電子加速の規模の違いなどを解明していく。